

■平成 24 年度用高等学校理科 生物基礎（生基 304）

平成 25 年度用教科書につきまして以下のように訂正いたします。ご迷惑をお掛け致しますこと、謹んでお詫び申し上げますと共に、ご指導に際しまして、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所 頁	原 文	訂 正 文	訂 正 理 由	
行				
61	図a	(DNAのヒストンへの巻付き方向を逆にします)	誤 記	
76	図a	(tRNAのDループ・Tループの下のひだを削除し、可変ループを追加します)	誤 記	
118	5-6	自律神経系の中枢は中脳・延髄(⇒ p.115図18)・脊髄などにあるが、これら働きは間脳の視床下部によつて調節されている。	自律神経の起点は中脳・延髄・脊髄にある。自律神経系はさまざまな器官の働きを調節するうえで重要な役割を担っている(表5)。	誤 記

改善のための訂正

訂正箇所 頁	原 文	訂 正 文	訂 正 理 由	
行				
31	1-2	中心粒	中心小体	「生物」(上位科目)と統一
31	図cタイトル	中心粒	中心小体	「生物」(上位科目)と統一
43	11	(過酸化水素の取り扱いに対する注意喚起を追加します)	安全への配慮	
79	図b	(tRNAのデザインをp.76図aと統一します)	表現の統一	
134	7	ポリオでは病原体を弱毒化したもの が、狂犬病やインフルエンザでは病原体を殺したものやその成分を精製したものが、	すいとう 水痘では病原体を弱毒化したもの が、狂犬病やインフルエンザ、ポリオでは病原体を殺したものやその成 分を精製したものが、	2012年9月からの 不活化ポリオワクチン接種開始に伴う変更